

同志社大学新図書館地点出土“禁裏御用品”の報告

毛利知寛

はじめに

同志社大学歴史資料館には、同志社大学今出川キャンパス内の発掘調査によって出土した遺物が保管されている。本資料は同志社大学校地学術調査委員会による昭和47年(1972年)の校内発掘調査で出土したものである。当地はまだ遺跡として認定されておらず、小規模な調査区であったが調査を実施した。現在の遺跡名は「常盤井殿町遺跡・相国寺旧境内」となっている。こうした事情から、正規報告書までは作成できず現在に至っているが、出土した遺物の中に、いわゆる禁裏御用品とみられる二点を確認したので、本稿で以下の二点について事実報告するものである。

1. 新図書館地点発掘調査について

新図書館地点は、現在の同志社大学図書館を示す。昭和47年に今出川校地の南西地点にあって、啓真館(旧華族会館の建物で、昭和27年より約20年間にわたり大学院のために機能した建物)と聚芳館(1922年に建築され、主に旧制同志社中学の教室であった)の木造建築を撤去し、その後調査を実施した。調査では、江戸時代後半の遺構が検出され、層序からは二層の火災の痕跡を確認した。出土遺物は、江戸時代中期以降のものが大半で、肥前陶磁器の皿・碗が多く、土師質小皿、瓦、銭貨などが出土したと報告されている。

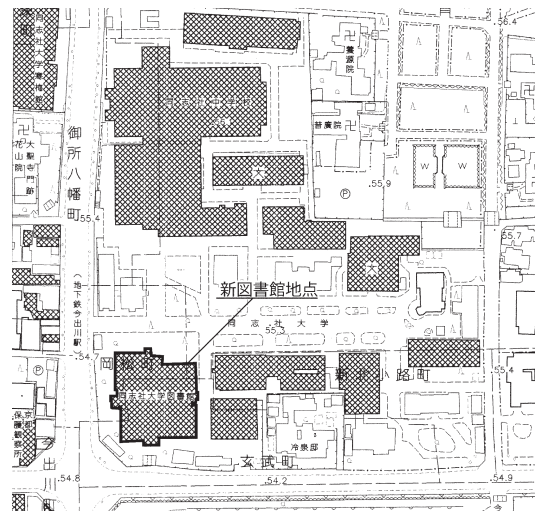


図1 新図書館(現図書館)地点位置図

2. 新図書館地点と徳大寺家

新図書館地点は徳大寺家の屋敷があった場所である。絵図では承応3年(1654年)『新板平安城東西南北町并洛外之図』に当地点に初出し、明治維新後当主が東京に移るまで屋敷を構えていた。徳大寺家は藤原氏北家閑院流である公家の家である。清華家の一つであり、四箇の大事・有職故実・雅楽(笛)を家職とした。清華家とは、公卿になることができる堂上公家の中で、摂家に次ぐ家柄である。堂上家は摂家を筆頭に、清華家、羽林家、大臣家、名家、半家の順で家格が決まっている。因みに、徳大寺家の有名な人物に西園寺公望がいる。公望は同じく清華家の西園寺家の養子となり、明治維新後は三職の参与や二度の内閣総理大臣を歴任し、後に立命館大学を開校するなど幕末・明治期に大きな活躍をした。当地は幕末まで徳大寺家の屋敷があったが明治以降は華族会館となり、戦後土地は同志社大学に受け継がれた。

3. 新図書館地点出土遺物中の植木鉢、染付碗蓋について

1は19世紀の京焼の植木鉢であると考えられる。菊の装飾が貼り付けてある。『相国寺旧境内発掘調査報告書』図面図版271にて、類例とみられる植木鉢の破片が紹介されている。また、伝世品としての植木鉢も報告されている。(図3)有栖川宮から光格天皇へ献上された伊勢撫子を、宝鏡寺に下賜した際に使用の植木鉢とされる。口径16.0cm、器高14.5cm、高台径10.0cmの植木鉢であり、今回の植木鉢も同様のものと推定される。

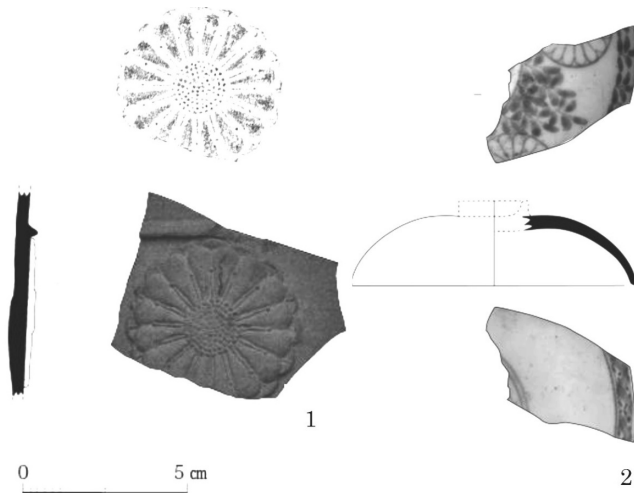


図2 1 新図書館地点出土植木鉢
2 新図書館地点染付碗蓋(S=1/2)

2は染付碗の蓋であり、肥前産である。菊御紋が描かれており、いわゆる“禁裏御用品”であると考えられる。外側には群葉が描かれる。“禁裏御用品”には、内面を無文とすることが多いが、当資料の内面下部には、18世紀後半頃から肥前磁器に表現されるようになる四方襷が施される。内面中心部には二重圈線が施される。口径は推定8.0cm、蓋部分をのぞく器高は2.0cmである。

今回は二点の資料紹介を行った。具体的は時期等の詳細は今後研究を進めていき明らかにしていきたい。これまで禁裏御用品

が、摂家の二条家屋敷・一条家屋敷、半家の高辻家屋敷等の遺跡において出土が確認されてきた。また羽林家の冷泉家、山科家には伝世品としての禁裏御用品が所蔵されている。

今回清華家の徳大寺家屋敷における出土が確認されたことで、清華家にも同様に禁裏御用関連品が下賜された事例を重要と考え今回報告した。



図3 焼締菊桐紋植木鉢
(京都・宝鏡寺)
出典：京都国立博物館2006年『京焼
—みやこの意匠と技—』pp.158より

参考文献

- 学校法人同志社 1979年 『同志社百年史』通史編二 pp1363,1383
- 京都国立博物館 2006年 『京焼—みやこの意匠と技—』 pp158,315
- 同志社大学校地学術調査委員会 1972年 『同志社大学今出川校地発掘調査報告書概報』 pp1~8

同志社大学歴史資料館 2014年 『相国寺旧境内発掘調査報告書』

今出川キャンパス整備に伴う発掘調査 第4次~第6次』図面図版271

同志社大学歴史資料館 2018年 『常盤井殿町遺跡・公家町遺跡・相国寺旧境内発掘調査報告書2018』 pp154・155

橋本政宣 2010年 『公家辞典』 pp4~5,124~126,160吉川弘文館